

平成26年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	地域の明日を考える講演会	事業経緯	継続	実施体制	主催	担当所属	企画部
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業		事業区分	展示会、〇〇ショー	

1. 事業目的

本事業は、北陸地域の社会資本整備や地域づくりに関連する新たな視点や考え方、地域住民にとって参考となる情報を広く提供し、北陸地域の社会資本整備や地域づくり活動に関わる人々の交流と連携を促進する場として、様々なネットワークの形成・強化・拡大を推進し、影響力を持つ内外のオピニオンリーダー層との情報交換・連携強化の場をつくることによって、地域の活力の増進や活性化に寄与するものである。

2. 事業実施体制

主催：一般社団法人 北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

事業目的に合致する、女性の活躍推進という視点で地域活性化を図るための示唆、取り組みへのヒント、最近の話題・動向等について、北陸地域に助言・提言できる専門家・研究者による講演会を実施した。

日時：平成26年11月19日(水) 14:00～15:50
 会場：チサンホテル&コンファレンスセンター新潟
 プログラム：講演『『理系社会』にみる最近の女性たちの輝き』
 講師：元村 有希子(毎日新聞デジタル報道センター編集委員)
 参加者：100人

* 建設コンサルタンツ協会CPDプログラム登録

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

政府が打ち出した地方創生の一環として、女性活躍の推進を支援するため、建設業をはじめとする女性の社会進出に関する課題や社会的地位の問題などについて有識者より提言をいただいた。
 参加者の約8割が講演は「有意義」と評価し、この提言を機に自らできることを考え、地域に貢献したいと意識したなどの意見がアンケートから伺え、講演会の効果があったと思われる。

告知チラシ

講演会場

地域の明日を考える講演会 ～北陸の再生戦略を考える～

『理系社会』にみる最近の女性たちの輝き

政府は「2020年までに海軍防衛に女性がめぐる割合が少なくとも30%程度に
 なるよう目指す」との目標を掲げ、女性活躍や登壇の拡大を推進しています。こ
 の動きは今年度の発表に広がり、北陸の付加価値や成長にも女性登壇の拡大が
 深く関係が期待されています。こうした動向を先取りして、土木系女子の専
 門や行動などを伝えながら、『女子力』を結集が活用するための視点や力を
 テーマに講演していただきます。

講師：元村有希子(もとむら ゆきこ)
 毎日新聞デジタル報道センター編集委員
 北陸出身で、1999年、北陸学院大学経済学部へ進学。毎日
 新聞に入社。丸の内線での通勤を経て2004年、東京本社
 経済部へ転勤。同年の東洋経済の社説「女性の活躍」の
 執筆に「理系社会」にみる、2009年の『理系女子』
 プロジェクトを企画。2014年からは『理系女子』
 として、毎月1回、『理系女子』、『理系女子』
 などがある。科学技術分野の中心で働きだしている
 『理系女子』のネットワークを拡大。大学卒業後
 読者対象。『理系女子』の編集者として、自ら11
 コラム(ニューズウィーク)を執筆している。

■日時：平成26年11月19日
 ■会場：チサンホテル & コンフ
 ■定員：200名(先着) ※※

※下記に必要事項をご記入の上、お申し込みください。

◆お申し込み先 ▶▶▶

【会社(団体)名】
 【連絡先(TEL)】
 【申込者氏名】

